

テーマ2 避難所の運営と避難所間の連携

- ・「テーマ1」の状況から1時間経過。
- ・TX・常磐線は直後から不通、復旧に3日程度かかる見通し。
- ・停電・断水・ガスの供給停止。復旧見通しは、電気2日後、ガス・水道は早い地区で3日後。
- ・コミュニティFMは自家発で放送継続。臨時公衆電話が2日後から利用可。携帯電話、携帯メール、インターネットは2日後に復旧見通し。
- ・全てのライフラインが途絶し、余震を恐れて、周辺住民や通勤・通学途上の帰宅困難者の方々が避難してくる。

<時間：09時00分、場所：小・中学校の校舎入口、登場人物：副校長、住民A、住民B、住民C、帰宅困難者、保護者>

住民A（マンション住民）：近くのマンション住民ですが、停電・断水し、余震も怖いので学校に避難させてください。体育館は使用できないそうですが、どの教室に入れていただけますか？また、マンションに残って自主避難しているお年寄りもいますので、水や食料を届けていただけませんか。

副校長：みなさん。学校としては、現在、生徒の安否確認と保護で手一杯の状況です。もうしばらくすると役所の連絡要員が学校に到着すると思われますので、避難所運営は、地域の方々が協力して、自主的に運営してください。

住民B（病人）：先生。かぜ気味で寒気がするのですが、薬はありますか。毛布やストーブを貸していただけますか？この地区に越してきて日が浅いのでわかりませんが、この学校には非常食や水はありますか。暖房機器、夜に備え灯光機などの防災資機材は備蓄されていますか。主人は健康ですし、少し耳が遠くなっていますが、定年後、料理を習っており、炊き出しなど、お手伝いできると思います。

副校長：避難所には救護所も設置しなければいけませんが、養護の先生は現在、怪我をした子供の付添で不在です。また、炊き出しする食材や器具についても、住民の方々に役所の連絡要員の方に確認してください。

帰宅困難者：先生。鉄道もバスの復旧の見通しが立たないため、一晚、この学校で避難させてください。先生、なにか、お手伝いすることがあれば、指示してください。

副校長：生徒と住民の方々と教室はいっぱいになる予定です。帰宅困難者の方々につきましては、他の公共施設で避難していただけますでしょうか。地域の住民の方で、誘導していただけますでしょうか。

住民 C（障害者の家族）：在宅で治療中の家族がいます。停電で酸素濃縮器が使えません。酸素ポンベの残量が少ないため、こちらに移し、発電機を貸していただけませんか。

副校長：こちらでは、医療や福祉的なケアを継続するための備えがありません。避難所運営委員会や役所と相談して医療的ケアが可能な病院や福祉避難所に移送の方がよいと思います。住民のみなさん。この付近で、緊急で受け入れていただける福祉施設をご存じの方はいますか？社会福祉協議会さんに紹介していただけるでしょうか。

保護者：先生。長男が5年1組でお世話になっております。私は家内とも災害対策要員のためこれから緊急参集し今日は戻れません。隣の保育所に二男もおります。中学校に長女がいます。3人とも学校で保護していただけますか。

副校長：5年生のお子さんは学校で保護します。その他のご兄弟は学校では保護できません。地域の方が避難所を運営されますので、地域の方々と相談してください。

Q1：このような混乱した状況で、避難所運営を行うために、地域（住民、保護者、事業所、他の公共施設、行政など）と学校、学校間、避難所間(福祉避難所も)で、どのような協力体制や資機材の備えが必要ですか。